



3月の初めから約2週間の間、岩手県認定農業者組織連絡協議会を通じた支援により、沢山地区にてビニールハウスの設置作業が行われました。今回の活動は、花巻市の認定農業者協議会のみなさんが、大槌町地域農業復興組合（上野秀明会長）に対して支援としてハウスの組み立ての作業を行ったものです。通常は専門業者により行われる作業ですが、延べ50人の農業者が仕事の合間をぬって大槌に通い、3棟のハウスが完成しました。会長の上野さんは、「とにかく感謝しています。みんな忙しい中来てくれて、同じ農業者なのでどれだけ大変かわかります。復興して作物を作ることが恩返しだと思います。笑いながら作業する皆さんにとても元気づけられました。」と感謝していました。

農業者の絆 結いっこの精神 内陸の農業者が支援活動



すくまち きよひと
直町 清均 さん

花巻市認定農業者協議会
会長

「農業者はもともと結いっこの精神とあって、こういった助け合いをしてきました。作りたいものが作れない辛さはとてもよく分かります。だからこそみんなこうして集まってくれました。大槌の農業者の皆さんにはぜひ頑張ってください。」

編集後記

▼広報担当になり、1年がたちました。昨年度は10月からの発行となっていましたので、4月号はもうちろん初めて。まだ大槌町の1年間はお伝えできていません。震災後から、月に2回の発行となり、情報の速さ、確実さに力を入れて広報発行に取り組んできましたが、町民の皆様には、発行が遅れることがあったり、配布が行き届かなかつたりと、ご不便をおかけしてしまいました。お詫びいたします。新年度は、お知らせ以外にも紙面を充実させ、町を元気にし、また大槌町を見て下さっている町外の人たちに町の元気を届けられるような広報作りを目指します。

▼最近、広報担当として顔を覚えていただき、取材中や役場で声をかけて頂くことが増えました。みなさんが広報を読んで感じていることを、直接話していただけるのはとてもうれしいです。町のいろんな場所に顔を出して、広報を通じてもっともっと町のみなさんと会話をしていければと思っています。新年度も広報おつちをよろしく願います。（佐橋）